

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年12月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700010
法人名	社会福祉法人 愛誠会
事業所名	グループホーム 芦穂の里
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字大熊1309番地3 (電話) 0997-57-7705
自己評価作成日	平成30年10月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年12月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①利用者一人ひとりの意欲や興味を引出し無理のないよう安心して穏やかにその人らしい生活が送れるよう支援しています。
- ②地域との関わりを大切にイベントや各種行事に参加し生活の変化を感じ楽しんで頂くように支援しています。
- ③会話のできる場所を提供し入居者の笑顔を引き出すように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・自治会に入会し自治会主催のムチモレ踊りも事業所の園庭を出発地点とし最初に踊ってから地域住民宅へ移動している。地域の敬老会やクリスマス会にも参加している。地域の代表者も事業所の行事に参加している。地域の小学生や保育園児との交流を行っており、利用者は雑巾を作って交流会の時にプレゼントしている。
- ・市との連携を密に取り合っており利用者の支援で困った事や不明な点などで電話や出かけていき相談してアドバイスを得る等、協力関係を築くように取り組んでいる。
- ・車イスの利用者に配慮して日勤者が多い時に利用者のドライブ支援に出かけている。自宅訪問して安心して利用している利用者もいる。地域の花見や敬老会に参加したり、母体施設での祭りや行事にも楽しんでいる。夏場は園庭での夕涼みなども楽しんでいる。

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域でゆっくり、のんびり安心して暮らして行けるように理念を作っています。	理念を毎朝のミーティング前に唱和し職員全員で理念を共有している。利用者が安心して毎日を過ごせる様に、1日1回、理念の1項目を重点的に実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	季節に合わせた行事参加。地域の方々と交流を持ちながらいつでも参加しやすい関係作りを心がけています。	自治会に入会し自治会主催のムチモレ踊りも事業所の園庭を出発地点とし最初に踊ってから地域住民宅へ移動している。地域の敬老会やクリスマス会にも参加している。地域の代表者も事業所の行事に参加している。地域の小学生や保育園児との交流を行っており、利用者は雑巾を作って交流会の時にプレゼントしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族や色々な方達の訪問を受け認知症を理解して頂きながら地域の方々に受け入れてもらえるようにサポートしています。		

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>検討事項や利用者の状況など報告し、出席メンバーから色々な意見を聞きながらスタッフと共有しサービス向上に努めています。</p>	<p>会議は定期的実施し、事業所での困難点を相談している。外部評価調査の結果報告もしている。利用者の徘徊についての相談やヒヤリハットに関連しての意見が出て職員も参加して市担当職員からアドバイスを受けている。帰宅願望の利用者の件で安定した生活が送れるよう取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市や市内の事業所が主催する研修会に参加し情報交換や意見交換を行っています。困難な事例については各担当者に助言を頂いています。</p>	<p>市主催の福祉関連の研修会に参加している。事業所の実情や入居直後の帰宅願望の利用者の支援で困った事、解らない事があった時などに電話や出かけて相談する等、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会を実施し身体拘束や玄関の施錠について全ての職員が理解できておりケアの方向性においてはカファルズ等で振り返りを行い確認しています。</p>	<p>マニュアルを作成し身体拘束や虐待の研修を行い、身体拘束をしないケアの実践をしている。外部からの講師による研修会も行っている。日中の玄関の施錠は行っておらず、利用者の表情や気配を察して職員で連携を図り利用者と一緒に園庭を散歩する等の支援を行っている。地域住民や近くのガソリンスタンドの職員にも利用者を見かけたら連絡が貰えるよう協力依頼をしている。</p>	

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会、カンファレンスを開き認知症の方々への虐待防止の徹底を心がけ支援する事ができています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	活用する機会が中々ないがカンファレンスを利用し理解を深め地域の研修会参加も活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約時は十分な説明を行い利用者や家族に理解して頂き同意を得るようにしています。医療機関との連携もサービスに入れ受診時の内容を十分に説明し不安や疑問に答えるようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の状況は必ず、1回/月のお便りにて家族へ報告し家族からの意見、要望を気軽に声掛けが出来る雰囲気作りを心掛けています。要望がある時は、ミーティングを開き職員全員で話し合い反映させています。	利用者や家族から医療機関への受診依頼や馴染みの美容室への依頼等がある。職員との会話の中で意見や要望を表しており、出された意見等は可能な限り運営に反映させている。事業所に意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃の生活の場で職員の気づきや相談等を聞きながら勉強会を持ち反映できています。</p>	<p>カンファレンス等で職員からの意見が出て、食事支援時の利用者介助の件や夜間帯のおむつ交換時の対応・軟膏を塗る時の対処の仕方等を日々の支援の中で話し合っている。勤務についても相談して対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員のスキル向上の為、常に協力し合える環境作りを行っています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の情報を収集。できるだけ多くの職員が受講できるように計画を立てています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大島地区グループホーム協議会 群島施設連に加入し研修や勉強会に参加し交流を図っています。</p>		

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族の意向を聞き取り安心して生活できる雰囲気作りをし利用者との信頼関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意向を聞き取り家族の不安等を一緒に考え支援のあり方を示すように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アプリ作成時に家族、本人の意向を聞き取り必要としている順位にそってサービス支援ができるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の意欲を引出し、できる事を探し自分で取り組む事ができる体制を導くようにお互いが信頼できるような関係作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>地域の行事やホームのイベントに参加して頂き、本人と家族が同じ空間で過ごし気持ちを一体化できるように努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>以前、関わっていた事や生活歴等を把握することで人や場所の関係が保っています。</p>	<p>利用者の入居前の生活歴を聞き、馴染みの友人や場所との関係が途切れないよう支援している。外出時に家の前を通ることもある。馴染みの友達の面会や家族と一緒に会話や交流を楽しんでいる。家族と墓参りに出かけたり、焼き芋を買いに行ったりしている。家族に電話をかける支援もしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>皆さんと一緒に集まって過ごせる時間と場所をセッティングし必要に応じ職員がサポートしています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院等で退去になり契約が終了してもホームに気軽に足を運んで頂けるように家族の方に声かけしています。</p>		

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活において一人ひとりの想いを引出し行動や表情から本人の望む意向の把握に努めています。	入浴中の会話の中で昔勤めていた事を話す利用者等の思いを気づきノートや申し送り帳に記録し、職員全員で共有している。大工仕事をして利用者は釘や金槌を使い棚を造ったり、詩や短歌を得意としている利用者もいる。困難な場合は家族や友人からの情報を得て業務日誌に記録し、情報を参考に本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や今までの暮らしの状況を把握する事で家族へ必要とする事の協力をお願いする事に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	チェック表を参考にし排泄、水分、食事量、バイタル変動を把握し一人ひとりの意欲を引出し不穏なく暮らせるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎朝の申し送り、1回/月のカンファレンスを通して意見交換を行い統一したケアに取り組み、主治医、家族との連携を図り助言を頂いています。	利用者や家族から思いや意見を聞き取り、医療機関の主治医や看護師・職員で話し合い、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回行っている。状態変化がある時はその都度家族と連携し計画を変更する等、臨機応変に対応している。	

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケース記録は担当者によって本人の言動、行動が細かに記載され一人ひとりのケアの実践、工夫などが自由に記録でき職員で共有できるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	長期入院を避ける為、医療機関と連携を取り、早期受診ができるように取り組んでいます。面会時間を設定せずいつでも訪問できるように支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事の参加、ボランティア、小、中学校との交流、福祉体験学習の受け入れ、美容師の訪問等の地域資源を把握し豊かな暮らしを楽しむ事ができるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の要望に添い、元々の医療機関に継続して医療支援が受けられるようにしています。他科受診の必要時は紹介状を書いて頂き状態に合わせた適切な医療が受けられるように支援しています。	入居前のかかりつけ医の受診を支援しており、受診は事業所で行い家族に受診後に報告を行っている。月1回の訪問診療を受けている利用者もいる。適切な医療を受けられるよう支援を行っている。状態に変化があった時は総合医療機関等を受診している。	

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ケース記録や業務日誌、申し送りから状況を把握し表情を観察しながら異常の発見に努め迅速な対応ができるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、「入院診療計画書「入院看護要約」を求め早期退院に向けてアプローチを行っています。退院のカフェーンを開き主治医より指示やアドバイスを受ける事ができています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意向を伺いながらホームの方針を説明し話し合いを持つ事ができています。訪問診療、看護を取り入れチームで支援に取り組んでいます。	重度化や終末期のあり方については入居の際の早い段階で話し合っている。段階的に家族との話し合いで今後の方針を聞いている。事業所として看取り支援は行っておらず、食事が摂れなくなった時点で家族や主治医に相談して対応している。看取り支援を行う方針で計画している。	

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導の下、定期的に「救急講話、救命入門コース」で全ての職員は訓練に参加し実践力を身に付けています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の指導の下、定期的に災害訓練を行い、避難場所の確認を明確にしています。又、日頃から地域、近隣住民の方や全職員の協力が得られるように働きかけています。</p>	<p>年2回消防署立ち会いの下、夜間想定 of 災害避難訓練や火災訓練を実施している。実施予定日を地域に放送して参加の呼びかけを行っている。職員は消防職員から救急蘇生訓練やAEDの操作方法も受けている。避難場所への移動訓練も実施している。災害や緊急時の備蓄としてカップラーメンや水・使い捨ての紙コップ・オムツ・お尻拭き・毛布・バスタオルなどを準備している。車イスの利用者も職員が付き添い避難訓練に参加している。</p>	

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを第1に考え無理強いしないケアに取り組み自己決定がしやすい声掛けを支援しています。	利用者の人格の尊重とプライバシー確保のマニュアルを作成し、年1回研修会や勉強会を実施している。利用者に話しかける時は、利用者が返事ができるような問いかけを行ったり、利用者をちゃん付けで呼ばないようにする等、言葉使いに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の生活の場で個々の表情をつかみ本人が思いや希望を伝える事ができ自己決定できるように職員で声掛けしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合せ過ぎて頂くように普段から配慮し、1日の日課の決まり事を強制せず本人の希望や意向が聞けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に美容師の訪問を取り入れおしゃれを楽しんでいます。毎朝の更衣は本人に好みの服を選択してもらい興味を引出しています。		

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理のお手伝いはできないが、四季の野菜に興味を持って頂き料理、味付けと一緒に楽しむ事ができています。食器拭き等の自分の役割を持ちできる事の喜びを感じる事ができています。	嗜好調査を行い個々に応じた食事を提供している。天気の良い日に園庭でのお茶を楽しんだり家族が来た時に外食に出かける利用者もいる。利用者から正月料理を教えてもらったりしている。モズクの味付けやつわぶきの皮むきなどの下拵え等を職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食物アレルギーの方に注意を払い、食欲低下の方には栄養補助食品を提供し咀嚼、嚥下常態により食事形態の工夫、トシ粉を使う事で自力摂取を支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは自力を促し必要に応じ磨き上げの介助を行なっています。義歯はポリデントに浸け清潔が保てています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心に配慮しチェック表から一人ひとりの排泄パターン、サインを察知できるようにしています。尿意の無い方は定期的に声掛け誘導し排泄の自立を促しています。	個々の排泄パターンで時間を見てトイレ誘導を行い排泄の自立に繋がるよう支援している。他の利用者を誘導した後に声をかけてみると排泄できる利用者もいる。希望で夜間に起こしてトイレ誘導している利用者もおり自立に向けた支援を行っている。	

目 己 評 価	外 部 評 価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を促しヨーグルト、スキムミルクや芋の提供をする事で便秘の改善に役立っています。必要に応じ腸のマッサージや普段から身体を動かすことの必要性、食事の大切さを認識して頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調管理をしながら時間帯の工夫、入浴拒否の時の支援方法等職員の都合に合せず本人のペースで意欲を引き出す声掛けをしています。洗える所は自分でするように見守りをしています。	週2回、午前と午後に入浴が楽しめるよう支援しており、車椅子の利用者に考慮して職員の数が多い時に入浴支援を行っている。冬場には入浴剤を入れて色と香りを楽しんでいる。入浴拒否の利用者には曜日を変更したり言葉かけにも工夫して入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はフア-で過ごせるように離床を促し体調管理をしながらレクレーション等を楽しみ安心して過ごす事ができるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の指導、指示を受け薬の変更等があった時はその都度申し送りをして記録に残し職員が把握できるようにしています。服薬時は手渡し、飲み込み確認をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食器拭きや洗濯物干しなど軽作業等、出来る範囲で一人ひとりの役割を持たせ感謝の気持ちを伝えていきます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>週、1回のドライブを設定し馴染のある場所へ出かけ四季の移り変わりを感じて頂けるよう支援し、家族の協力もお願いし墓参り等も計画する事で本人に満足頂けるよう支援しています。</p>	<p>車イスの利用者に配慮して日勤者が多い時に利用者のドライブ支援に出かけている。自宅訪問して安心している利用者もいる。地域の花見や敬老会に参加したり、母体施設での祭りや行事にも楽しんでる。夏場は園庭での夕涼みなども楽しんでる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の所持については難しく必要物品の購入は出来る事を本人に理解して頂いています。小銭所持の方は本人の管理で行っていて家族の了解も得られています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族からの電話が何時でも受けられ本人が気兼ねなく話せる環境作りをしています。本人の希望時は何時でも対応できるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室に家族の写真を置く事で懐かしく感じ落ち着いた雰囲気の中で過ごす事ができています。707-の廊下に季節毎の顔なじみの方達の写真がある事で足を止め見入る事ができています。</p>	<p>共用ホールの壁は行事に参加した利用者の笑顔の写真や毎年恒例となっている近くの小学1年生との交流写真が掲載している。季節が感じられるクリスマスツリーも設置している。畳の部屋やソファでくつろいでいる利用者もいる。浴室は個浴で適度な広さで転倒防止の手すりも備えられており、廊下や玄関も適度な広さで明るい。テラスで歌をうたったりお茶を飲んだりして居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>椅子を何か所かに置き、その日の気分で外を眺めたり、ゆっくり傾眠したり一人ひとり自由に過ごす事ができています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の思い出の物を家族と相談し配置。使い慣れた物や好みの衣服を揃える事で不穏を回避し居心地よく過ごせるように工夫しています。</p>	<p>居室は自宅で使い慣れた衣装ケースやタンスなどの家具を持ち込んだり、仏壇に毎朝、手を合わせている利用者もいる。転倒予防も兼ねて低床ベットを持ち込み、床には薄い布団を敷くなどの工夫を行っている利用者もいる。壁には本人や家族の写真や花の写真を飾り、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人の意向を聞きながら自立した生活へ向け家族の方の協力を得ながら本人が不穏にならないように支援しています。トイレや居室内の動線の環境整備を整え安全に移動できるように工夫をしています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない